



ななこ
佐々木奈菜子さん (16歳・高崎)

県立秋田高等学校2年、剣道部所属。常に前へ攻め続ける気迫のあるプレースタイルを磨き上げ、11月に行われる新人戦でベスト8以上を目指します。

先輩の背中を追いかけて勝利に向けて日々研鑽を積む

兄の野球の練習を見学していた際、グラウンドの近くに道場があり、剣道に興味を持ったという奈菜子さん。父親から「剣道に向いている」とアドバイスをもらい、秋田高校進学後に剣道部へ入部しました。

試合中における自身のプレーの強みを、「常に前へ前へと攻めを繋ぐことができる」と語る奈菜子さん。チーム内では責任感を持ち、誰よりも大きな声を出して練習に臨んでいます。ムードメーカーとして、いつも周りを鼓舞することを忘れません。自分から積極的に声掛けを行ってきたことで、チームが次第にまとまってきたのを実感してきたと言います。

そんな奈菜子さんが印象に残っている大会として挙げたのが、入部後最初の大会となった、第68回東北高等学校剣道選手権大会。男女ともに団体戦での出場を果たした本大会では、入部して間もない奈菜子さんにも団体メンバーに選ばれました。結果、男子は3位の成績を取ったものの、女子は惜しくも予選敗退となりました。しかし、その時の先輩たちの戦いぶりを見て、「自分も将来、このように戦える選手になりたい」と感じ、一生懸命練習に励むきっかけになったと語ります。

そして、今年5月には、中央支部総体で個人戦に出場しました。結果は、2回戦敗退となってしまいましたが、自身の課題を「前に攻めることが得意である一方、守りへの意識

がまだ身につけていないところ」と冷静に分析。今後は、試合経験をたくさん積み、一本を積極的に取りにいきつつも相手に取らせない、そんな「隙のないプレースタイル」を確立したいと語ります。

現在は、11月に行われる新人戦へ向けて猛練習の日々。個人戦で出場予定の奈菜子さんは、「新人戦では、他の大会でシード権を得られる『ベスト8以上』を目指して頑張りたい。今よりももっと強くなって、他の選手から研究されるほどの選手になりたい」と話していました。



YOUNG がんばる!ヤング 33

若者の元気は町の元気! 部活動などをがんばる高校生や大学生を紹介します!

大切なふるさとを想う

千葉県柏市在住 澤田石 学 (内川湯ノ又出身・35歳)

先日、仕事終わりに父から「ふるさと五城目会から依頼があり、五城目町の広報誌に載せる記事を書いてほしい」という電話をもらいました。いきなりの依頼に驚くと同時に、「私が書く記事でいいのかわか?」と思いました。

私は、中学校卒業時までは、五城目町内川にある家で暮らしていたのですが、高校生の時には校舎近くの下宿に住まわ



息子さんと一緒に。



息子さんの運動会。左から2番目が澤田石さん。

せてもらい、大学は栃木県、そして今は千葉県で仕事をしています。35年間の人生の中で、五城目町で過ごしたのは15年しかないのです。そんな私が広報誌に載せる記事を書くのか不安でした。しかし、記事のタイトルを聞いて、これなら書けそうだと思いい、依頼を受けることにしました。

人生の半分以上は町外で暮らしていますが、私の故郷は五城目町内川であることに変わりはありません。たまに帰省した時に見る実家の裏の田んぼ、畑、山、川・・・そして小学校への通学路。家の前の坂道。20年前とほとんど変わらない風景を、帰省するたびに楽しんでいました。

しかし、昨年、そんな私の故郷を大雨が襲いました。それを最初に知ったのは父から送られて来た動画と写真です。内川川が氾濫し、家の目の前まで泥水が押し寄せて来ていました。家の裏の田んぼや畑は全て水に飲み込まれ、そこには何もなかったかのような光景が広がっていました。大きな衝

撃を受け、すぐに父に電話をしたのを覚えています。その後、全国版のニュースでも、変わり果てた実家近くのアーチ橋を目にしました。

そして今年、またしても全国版のニュースで秋田県の大雨が放送されました。2年連続泥水に覆われた故郷を見ることになるなんて、誰が予想しでしょうか。田んぼや町の様子を聞くたびに胸が痛みました。幸いにも両親や祖母に怪我はなく、電話などでやりとりできていたのは私にとって救いでした。

災害が2年も続き大変だったとは思いますが、先日、年長になる息子の運動会を見るために両親がこちらに来てくれました。成長した息子達の姿を見ることができ本当に良かったです。また、息子たちと戯れ、楽しむ両親の姿を見て安心しました。

今回、この記事を書く中で、私にとつてのふるさとへの思い、そしていつも見守ってくれている両親への感謝を再確認することができました。これから先も、生まれ育った五城目町は私にとって大切な場所であることに変わりはありません。今度帰ったら、また実家から見える風景を見てひそかに楽しみたいと思います。

故郷ロンドンで過ごした家族とのひととき

Hello Gojome Town, At the end of summer, I went back to the UK for two weeks. It has a long flight (14 hours from Tokyo!) but I felt very lucky to travel all the way to the UK.

I spent a lot of time with my family and friends, so it was lovely. I ate very delicious foods, like a classic "English Breakfast", "Hot Cross Buns" and lots of tea! My favourite food is scones and "clotted cream." If you don't know what "clotted cream" is, you should google it on the internet! It's an interesting cream that is very popular in the UK, and I miss it a lot! I visited London many times, as my family home is only 30 minutes away on the train! In my picture, you can see "Big Ben", a famous clock tower and the "London Eye" a big ferris wheel!

Although I enjoyed my time in the UK, I missed many things about Japan, and the beauty of Gojome. I feel like I have a "home" in both countries now! Until next time!

夏の終わりに、2週間イギリスへ帰国していました。フライト時間は、東京から14時間と長かったですが、はるばるイギリスを訪れることができるとてもうれしかったです。多くの時間を家族や友人と共に、とても楽しかったです。昔ながらのイギリスの朝食や、ホットクロスパン(イギリスの菓子パンの一種)といったとてもおいしい食べ物や、紅茶もたくさん飲みました。一番のお気に入り、スコーンとクロテッドクリームです。クロテッドクリームがどんなものかわからない人は、インターネットで検索してみてください!イギリスでとても人気のある面白いクリームで、日本へ帰ってきた今、とても恋しいです!

ロンドンへは、実家から電車です。30分ほどのところにあるので、何度も訪れました。写真には、有名な時計台である「ビッグベン」と、巨大な観覧車である「ロンドン・アイ」が見えるかと思えます。イギリスでの時間はとても楽しかったですが、日本でのことを寂しく思いました。現在は、2つの国に故郷があるような思いです!それではまた!



ゾーイのぞじょうめ日記



Zoe Fell (ゾーイ・フェル) イギリス・パークシャー出身。昨年8月から、町の外国語指導助手(ALT)に着任しました。

ぞじょうめの文芸

- 「短歌」
 - 産声もあげずに一片の雲となり 大川 小熊 正明
 - 男鹿の山より秋運びくる 岡本 二方 征捷
 - 朝食の納豆かきませ糸を引く 菜味を加え妻とほほ笑む 西磯ノ目 小玉 明子
 - ガラス戸に滴り落ちる雨をみて いしがしだいに不安な静けさの中 八郎瀧町 北嶋美保子
 - 「俳句」
 - さつま諸まめでいれやと置いて行く 湯ノ又 知沢タマ子
 - 「一川 柳」
 - 鬼灯の根を間引きして秋を待つ 北秋田市 加藤 一行
 - 就寝のページに波の音がする 矢場崎 鈴木さくら
 - 水害のあとは猛暑と断水と 東磯ノ目 菊地 風月
 - どん底で知る神様の有り難さ 新畑町 渡辺 松風